

令和7年度 埼玉県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会

第1回 推進連絡会議

実施日	7月24日(木) Zoomによるオンライン
参加者	65名 (推進協会員施設・社協)
報告者	深谷市社会福祉協議会 寄居町社会福祉協議会



参加者の様子

内容	
「市町村域における公益的な取組」について、深谷市社会福祉協議会及び寄居町社会福祉協議会より事例報告をいただきました。 深谷市社会福祉協議会の報告では、連絡会が発足するまでの経緯、令和6年度に実施した「地域のフードパントリー・なんでも相談会」及び小中学校の総合的な時間で実施した福祉教育の出前講座について説明がありました。 社協と社会福祉法人が協働することで、出来ることの幅が広がるとともに、様々な視点・アイデアが加わり、「誰もが安心して暮らすことのできる、福祉のまち」実現に近づけたとお話いただきました。 寄居町社会福祉協議会の報告では、令和6年度に実施した「地域支えあいの会」や子ども食堂団体への食材購入支援について説明がありました。 また、今後の取組については、地域の課題等を踏まえつつ、各所が一緒に汗を流すことが大切とお話いただきました。	
社会福祉法人と社協が連携する“意味” ～住民の実顔のために～ 【ふかや社会福祉法人社会貢献活動推進協議会】 	
寄居町社協施設等連絡会議の取り組み R7第1回社会貢献活動推進連絡会議 	
参加者の声	
・地域貢献活動の一步として、社会福祉法人に無理がないような取組からスタートすることで少しずつ輪が広がっていく様子を感じる事ができた。 ・施設職員への成長が促せることは今後の福祉の発展につながるものと思う。 ・包括的支援体制について、当市も目指しているところだったので、参考になった。 ・「各施設の負担がないように」と施設の立場に立った視点が大切だと思った。	